

高齢化社会に突入したニッポン、これからどうする？ 「活発なコミュニティ活動が 居住者をつなぎ、孤独死を防ぐ」

NPO 埼玉管ネット 会長 佐々木 一

3月15日のマンション管理
新聞に平成17～19年の3年
で、121人の孤独死があつ
たと報じられた。

孤独死を生み出す背景とそ
の対策に迫った1冊「一人誰
にも看取られず」。特別な状
況下でしか起きないと思つて
いた「孤独死」が、今 日本
各地で急増している。(NH
Kスペシャル)「一人団地の
一室で」は、映像グランプリ
受賞作品で、放映後内容に更
なる孤独死の実態調査や防止
策について追加取材を加えて
書かれたものである。

孤独な高齢者だけでなく、
40～60歳全般の「若年孤独
死」の実態と背景に迫る社会
派ノンフィクションである。
昨年10月、全関連の推薦書
として、埼玉管ネットでも、機
関紙マンションライフに掲載
・紹介した。

読売新聞3月9日朝刊に

「高齢化団地 孤独死の影」
という見出しで、かつて東洋
最大級の団地と言われた草加
松原団地が掲載された。

草加松原団地は、入居開始
から45年を経過、住民は高齢
化の波にさらされている。平
成18～19年の2年間でひっそ
りと亡くなったお年寄りが9
人確認されている。孤独死す
るお年寄りは、ほとんどが独
り暮らしで、発見までに2週
間以上かかったケースもあつ
たという。

世帯数4000戸の松原団
地に入居の始まったのが、昭
和46年12月で高度経済成長期
の始まりである。当時では、
珍しい水洗トイレやシステム
キッチンなどを備え、団地前
に東武伊勢崎線「松原団地
駅」が開業、都内へ通勤する
人で集まった埼玉都民の走り
と言われた。

この45年の間に住民も一部

で入れ変わったが、多くはそ
のまま残っている。65歳以上
の団地の高齢化率が、昭和60
年には、4・5%だったのが、
平成20年1月では、33・
7%になった。

草加市全体で約17%、埼玉
県が22年後に想定する県内高
齢化率28・6%も超えており
団地では、今後「孤独死」
は、増える可能性が大と危惧
している。

*平成16年1月23日公布の
「マンション標準管理規約」
に、新しく新設された「地
域コミュニティに配慮した
居住者間のコミュニティ形
成費用」というのがある。

問題は団地やマンション居
住者にとって、この条文・コ
ミュニティ形成のための費用
とは何かであり、何をどうし
たらマンション内のコミュニ
ティが確保され、孤独死防止
に繋がるのかである。これ
は、高齢化社会に向かつてい
る日本の、又マンション管理
組合の今後の取り組みべきテ
ーマでもあると思う。

*今年全管連は、建物の老朽
化と居住者の高齢化、この

二つの老いに挑戦する。
「二つの老い」を乗り越え
る為に、今多くのマンショ
ン管理組合では、自立を考
えているようだ。

その具体的な方法として日
常管理と修繕計画を一体化し
て管理の合理化を進めようと
いうもので、管理組合の自立
と管理の合理化は、表裏一帯
の関係にあり、管理組合が自
分達のマンションにおいて、
その建物・財政・規約・コミ
ュニティのすべてについて把
握し、それに関する管理組合
の適切な方策を、自ら決定し
ていくことができれば可能性
はあると思う。

埼玉管ネット・会員皆様へ
5月18日・埼玉管ネット
は、浦和駅東口のパルク
で、総会とセミナーを開催
いたします。当日、JR浦
和駅は、京浜東北線・高架
工事のため初電から午後3
時頃迄、各電車は、通過す
るようです。京浜東北線・
北浦和・南浦和駅より、振
替えバスにてのご参加下さ
い。

早目の点検と改修で漏水を防ぎ、 建物の資産価値維持・保全をサポートします

「非破壊」劣化度
診断システム

防水シート「ロンブルーフ」の防水層に損傷を与えずに劣化度を診断

ロンマットME・
ロンステップME

滑りにくい長尺塩ビシート・階段用床材+塗膜防水で安全と防水性を確保

ロンシール工業株式会社

<http://www.lonseal.co.jp/>

●本社防水部 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846
●大阪支店 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-9-13 大北ビル7F TEL.06-6304-2700 FAX.06-6304-6948